

## 令和3年度 社会福祉法人南砺市社会福祉協議会事業報告

令和3年4月より地域福祉課のワーカー職員を東西のサテライトへ集約し、職員が地域へ出向きやすい体制により事業を進めております。また、令和3年度は、コロナ禍により1年延期されたオリンピック・パラリンピックが開催され、障がいのある選手たちの活躍があったことから、パラリンピアン、パラスポーツへの関心と多様性への理解が深まりました。

新型コロナウイルス感染症ははまだ流行の波があり、富山県の警戒レベルがステージ3となった期間は、サロンなど交流の自粛や公共施設が休館となりましたが、オンライン会議を活用するなど、感染対策をとりながら地域福祉の推進に取り組みました。

地域福祉推進部門では、孤立防止を目的とする「地域食堂モデル事業」は3年目の実施となりました。大人数での会食を避けて弁当を届けたり持ち帰ったりする方法に変更し、10地区で実施しました。だれでもサロンは、自粛により計画よりも実施回数が少なくなりましたが、居場所の必要性を感じている人は多く、サロン申請団体数は増加しました。

SDGsの取り組みと食品ロスをなくそうという考えでフードドライブ（余剰食品を利用する活動）を実施する団体から、多くの食品を寄付していただき、要支援世帯への無料配布会や生活困窮者への食品提供を実施しました。10月には、障がい者理解促進研修・啓発事業で「障がい者と災害」をテーマにした研修会を行い、障がいのある人から災害時の困りごとなど生の声を聞いたり、福祉避難所の役割や地域の防災体制について考えを深めました。また、親子のふくし・ボランティア体験講座では、車椅子ツインバスケットボール体験やキャンドルづくりを通じた交流会を実施し、子どもや働く世代に福祉への関心を高めてもらう機会となりました。

福祉センター等運営部門では、コロナ禍の中、十分な感染対策を行い、安心・安全な運営に努めました。利用者数については、現在は少しずつ落ち着き、コロナ禍前の3分の2までに回復しております。しかしながら、利用者層の高齢化が進むにつれ利用者の減少傾向は続いており、今後の集客が大きな課題となっています。

介護保険等サービス部門では、高齢者介護の観点から、コロナ禍においても感染者や濃厚接触者認定者以外の受入れを実施し、利用者ファーストの体制での運営に努めました。

また、令和3年度の介護報酬改定により、頻発する自然災害やコロナ等の感染症への対応として、施設毎の業務継続計画（BCP）策定が義務付けられたことを受け、計画策定に着手しました。当然ながら、施設運営の非常事態を避ける危機管理は、最重要課題であり、避けて通れません。利用者に迷惑をかけることなく事業継続出来るよう早急に進めることとしております。

2月末から連日テレビで目にする、ロシアのウクライナ侵攻による惨状は、人々が術もなく日常生活を奪われ、直視できないような現実です。わたしたちの暮らしを慈しみ守る決意を新たに、これからも地域全体で協働し福祉事業を進めてまいります。

# 1 法人運営部門

## 1 法人運営事業

### (1) 本所、支所の運営管理

事務所の管理運営及び社協活動車両9台の維持管理。

### (2) 理事会の開催

理事12名。業務執行上の事項及び当面する課題について協議。

回	開催日	議案
1	6月1日	①R2年度事業報告 ②R2年度収支決算について ③次期評議員候補者の選定について ④R3年度第1回評議員選任・解任委員会の招集について ⑤次期役員候補者の選定について ⑥R3年度評議員会（第1回評議員会）の招集について 協議：R4年度本所の移転（東西2拠点化）について 報告：会長・常務理事の職務執行状況について 法令による情報開示について
2	6月22日	⑦会長及び副会長の選定について ⑧常務理事の承認について ⑨評議員選任・解任委員の選任について ⑩表彰規程の一部改正について 報告：評議員の選任について（評議員選任・解任委員会の結果報告） 本所の移転（東西2拠点化）と支所の廃止について
3	11月8日	【決議の省略】 ⑪給与規程の一部改正について
4	12月16日	⑫R3年度補正予算（第1次）について ⑬井波社会福祉センター管理規程の一部改正について ⑭井口社会福祉センター管理規程の一部改正について ⑮福野老人福祉センター管理規程の一部改正について ⑯福光老人福祉センター管理規程の一部改正について ⑰R3年度第2回評議員会の招集について 協議：井波・福光事務所の正式名称について 報告：会長・常務理事の職務執行状況について 福光老人福祉センター利用時間等の変更について 井波社会福祉センター改修工事について 新型コロナウイルス感染症対策特例小口資金貸付状況について
5	3月25日	⑱R3年度補正予算（第2次）について ⑲定款の一部変更について ⑳事務局規程の一部改正について ㉑処務規程の一部改正について ㉒事務決裁規程の一部改正について ㉓文書規程の一部改正について ㉔ボランティアセンター運営規程の一部改正について ㉕支所運営委員会規程の廃止について ㉖外出支援サービス事業実施規程の廃止について

	⑳基準該当五箇山ホームヘルプステーション運営規程の一部改正について ㉑R4年度事業計画（案）について ㉒R4年度収支予算（案）について ㉓役員等賠償責任保険契約の締結について ㉔苦情解決第三者委員の補充について ㉕R3年度第3回評議員会の招集について 協議：井波社会福祉センター排水管改修工事について 基本財産 山林の処分（譲渡）について
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### （3）評議員会の開催

評議員23名。業務執行上の重要事項について審議、決定。

回	開催日	議 案
定時 1	6月22日	①R2年度事業報告について ②R2年度収支決算について ③次期役員の選任について 報告：法令による情報開示について 本所の移転（東西2拠点化）と支所の廃止について
2	12月23日	④R3年度補正予算（第1次）について
3	3月29日	⑤R3年度補正予算（第2次）について ⑥定款の一部変更について ⑦R4年年度事業計画(案)について ⑧R4年度収支予算（案）について 協議：基本財産 山林の処分（譲渡）について 報告：井波社会福祉センター排水管改修工事について

### （4）評議員選任・解任委員会の設置

委員3名。理事会の推薦を受けて評議員の選任について審議し、決定。

回	開催日	内 容
1	6月10日	評議員の選任について

### （5）監査会の開催

監事3名。運営管理、事業の執行状況及び財産の状況についての監査を実施。

回	開催日	内 容
1	5月20日	R2年度監査
2	7月29日	4～6月分、固定資産・施設・支所の現地監査（福光支所・福光温泉）
3	10月28日	7～9月分、固定資産・施設・支所の現地監査（城端支所・美山荘・山林）
4	1月31日	10～12月分

### （6）社会福祉法人地域公益活動推進事業

市内の8社会福祉法人が連携し公益的な事業を実施。

### （7）南砺市社会福祉大会の開催

式典において、永年にわたり福祉活動に尽力された方を表彰した。

開催日 11月11日

会 場 南砺市城端伝統芸能会館「じょうはな座」

参加者 被表彰者26名 福祉関係者90名

## (8) 表彰選考委員会の開催

9月28日 市社協会長表彰候補者の選考

## (9) 指定管理者制度への対応

城端老人福祉センター「美山荘」（指定管理期間：H30.4.1～R3.3.31）の指定管理者として、また五箇山ホームヘルプステーションおよび平・上平・利賀デイサービスセンター、平生活支援ハウス（指定管理期間：H29.4.1～R6.3.31）の指定管理者として管理運営した。

## (10) 職員研修体制の充実

内部研修及び外部研修への参加により職員の資質向上を図った。

### 【内部研修】

7月28日～30日、9月13日

介護職員研修（4事業所）

参加者 19名

内容 利用者様との関係づくりにおいて、介護職員としての役割は何かを再認識するなど、各事業所において情報交換を交えながら職員接遇研修を実施した。

### 【外部研修】

開催日	研修名	主催	参加者
＜総務・企画係主管＞			
9月21日～22日	チームリーダー研修（キャリアパス対応）	県福祉カレッジ	1名
11月16日	東海北陸ブロック職員研修集会 *オンライン含む	県社協	3名
11月25日～26日	中堅職員研修（キャリアパス対応）	県福祉カレッジ	2名
12月10日	社会福祉法人労務管理研修	県社協・経営協	1名
＜在宅福祉係＞			
9月30日	地域ケア合同研修会	南砺市	4名
10月20日	デイサービス部会	県デイ協	1名
11月12日	地域密着型通所サービス連絡研修会	南砺市	3名
12月17日	砺波地区会職員研修会	県デイ協	2名
＜地域福祉係＞			
8月19日	県福祉教育セミナー *オンライン	県社協	1名
9月6日	全国福祉教育推進員研修 *オンライン	全社協	1名
10月14日～15日、12月9～10日			
	地域包括ケアとコミュニティソーシャルワーク研修	県社協・福祉カレッジ	2名
10月31日、11月9日	災害救援ボランティア フォローアップ研修	県社協	1名
11月29日	地域ケア会議の手法とファシリテーター養成講座	県社協	8名
12月17日	ケアネット活動コーディネーター研修	県社協	1名
12月22日	自治体のおでかけ政策の統合を目指して *オンライン	交通と福祉の融合に向けた検討会	1名
1月28日	社会福祉協議会地域福祉実践研究発表会	県社協	5名
2月5日～6日	社会福祉士実習指導者講習会 *オンライン	三重県社会福祉士会	2名
2月22日	コミュニティソーシャルワークフォローアップ研修	県社協	2名
＜福祉サービス係＞			
10月8日	家計改善支援事業従事者養成研修 *オンライン	全社協	1名

### (11) 実習生の受入れ

社会福祉士養成課程における相談援助実習

実習生：日本福祉大学通信制4年制 1名

実習期間：9月16日～10月21日（計182.75時間）

### (12) 苦情解決体制

本会が行う事業に係る住民や利用者等からの苦情について、解決に向けて適切に対応するための体制を整えた。

- ・事業所ごとに苦情解決責任者、苦情受付担当者を設置
- ・社会性や客観性を確保するため社協外の体制として第三者委員を3名委嘱
- ・苦情解決に必要な知識を学ぶため外部研修に参加

3月8日 福祉サービス苦情解決研修会 \*オンライン 委員2名、職員1名

### (13) 経営基盤の強化

住民や市内企業等へ社会福祉協議会会員加入及び会費納入を依頼し、地域福祉活動の資金として活用した。また、事業および会費への理解が得られるよう、使途を広報等で周知した。

		R1年度	R2年度	R3年度
一般会員 (市内全世帯)	件数	13,632件	13,827件	13,662件
	金額	5,462,650円	5,537,950円	5,477,530円
賛助会員 (活動に賛同する法人)	件数	235件	229件	221件
	金額	993,000円	1,054,000円	964,000円
特別会員 (個人)	件数	204件	189件	200件
	金額	221,400円	223,000円	223,000円

### (14) 主な修繕（10万円以上）

- ・西サテライト サッシ網戸設置工事 108,240 円
- ・西サテライト 玄関及び駐車場照明設置工事 198,000 円

### (15) 固定資産取得支出（10万円以上）

- ・ソフトウェア取得 給与ソフトV6バージョンアップ 210,375 円
- ・ソフトウェア取得 減価償却V6バージョンアップ 126,225 円

### (16) 更新及び取得した主な設備・備品（10万円未満）

- ・オゾン発生器3台（本所、東・西サテライト） 54,780 円（1台あたり）

### (17) 職員8名の人件費

## 2 委員会活動事業

### (1) 南砺市地域福祉活動計画推進連絡会議の開催

委員15名、アドバイザー1名

地域における福祉活動推進状況を把握し、本会の支援内容を評価するとともに、今後の地域福祉活動への支援や取り組みを検討。

回	開催日	内 容
1	11月 9日	市社協の取り組み状況報告、地区での取り組み紹介 等
2	3月 1日	令和3年度の取り組み、第3次計画の評価及び次年度の取り組み 等

## (2) 第4次南砺市地域福祉活動計画 第1回策定委員会の開催

委員40名（アドバイザー含む）

地域における福祉活動推進状況の把握及び課題を整理し、第4次地域福祉活動計画策定に向けて進めた。

回	開催日	内 容
1	1月25日	委員へ委嘱、策定の趣旨、第4次計画の骨子案

## 3 基金運営事業

### (1) 地域福祉振興積立金の管理

地区社協へ助成するための積立金取崩及び事業収益の積立。

- ・ 社会福祉事業振興基金 100,000,000円
- ・ 地域福祉振興積立金

R2年度末積立金額	R3年度積立て額	R3年度取崩し額	R3年度末積立金額
64,350,000 円	1,400,000 円	3,020,000 円	62,730,000 円

## 4 退職手当積立事業

### (1) 全国社会福祉団体職員退職手当基金

- ・ 正規職員28名の加入
- ・ 退職手当給付金の支給（退職者 1名）

## 2 地域福祉推進部門

### 5 地域総合福祉推進事業

#### (1) 地域総合福祉推進事業（ケアネット型）助成

要支援者に対する見守りなどの活動費や、活動者や地域住民を対象とした研修会等の経費として、30地区の地域づくり協議会へ上限25万円（総額7,000,000円）を助成した。

《ケアネット活動実績》

	R1年度	R2年度	R3年度
ケアネットチーム数	187チーム	188チーム	183チーム
ケアネットチーム員数	882人	849人	789人
支援対象者数	1,169人	1,213人	1,143人
支援回数	45,533回	45,530回	46,082回

#### (2) ケアネットセンター運営事業

ケアネット活動の推進と活動者の支援を目的に、ケアネット活動コーディネーターを配置し、チーム員と関係機関等との連絡調整や、地域住民を対象とした研修会を実施した。

##### ① ケアネット活動普及啓発と地域づくり協議会への支援

	R1年度	R2年度	R3年度
各地区での事業説明と活動助言	20件	21件	25件

##### ② 個別支援への対応

	R1年度	R2年度	R3年度
ケース会議の開催（参加含む）	26件	13件	11件
新規サービスプログラム数	10件	2件	2件

##### ③ 関係機関との連携

- ・24時間定期巡回サービス事業所、市地域包括支援センター、居宅介護支援事業所との合同連絡会を2ヶ月ごとに開催し、ケースごとの多職種連携を進めた。
- ・各地域の要保護児童対策地域協議会に出席した。
- ・ケアネット活動協力企業への登録依頼

	R1年度	R2年度	R3年度
協力企業の登録数	—	14件	21件

#### (3) 【強】 ケアネットチーム員研修会の開催

開催日	11月18日
会場	井波総合文化センター
参加者	49名
内容	講師 富山福祉短期大学 教授 宮嶋 潔 氏 ケアネットチーム員を対象に、具体的な事例を通して活動の効果的な進め方や支援にあたってのポイントを学んだ。また活動する上で工夫していることや悩みをグループ討議し、他地区の活動者と情報交換した。
成果	困りごとから地区の取り組みに発展した事例や、対象者に見られた変化などを聞くことで、活動を継続することの大切さを共有することができた。

#### (4) 【新】ケアネット活動推進連絡会の開催

開催日	2月8日
会場	井波社会福祉センター
参加者	9名
内容	見守り活動を行う団体や関係機関等が、それぞれの活動を紹介し合い、ケアネット活動における支援状況や課題を確認し、今後の活動に向けて意見交換した。
成果	それぞれの活動状況や悩みを聞いていく中で、個人の困りごとに関わる地域住民を含めた支援者同士で情報共有する機会が有効であると、参加者で確認することができた。

#### (5) 第3次南砺市地域福祉活動計画（4年目）の推進

##### ①活動計画「地区での取り組み」の周知と推進

本計画の「地区での取り組み」を推進するため、日常生活5圏域に分かれて実施した地区福祉活動連絡会で、現在取り組んでいる活動と把握している個別課題について意見を出し合い、課題に対する取り組みへの認識を共有した。課題に対応する取り組みを計画する地区が増えてきた。

地区の福祉活動計画 12地区作成（R3年度末）

##### ②アンケートの実施

本計画の進捗状況を評価する目的で、31地区対象にアンケートを実施した。また、福祉活動者187名と参加者・利用者等238名へのアンケートも併せて実施した。

##### ③評価および次年度に向けて

評価報告書にまとめ、3月1日の南砺市地域福祉活動計画推進連絡会議にて協議された。

#### (6) ふくし出前講座の開催

社協事業の紹介、福祉活動への協力を呼びかけるため社協職員による出前講座を実施した。また、市内小中学校へパンフレットを配布し、学校へ出向く機会が増えるよう取り組んだ。

19か所 6講座実施

講座名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
	社協概要・活動計画	共同募金	いのちのバトン	ケアネット	ボランティア	災害ボランティア	サロン	金銭管理	ふくし体験	
実施回数	3回	0回	5回	2回	0回	2回	9回	0回	2回	23回

#### (7) いのちのバトン事業

広報「なんとの福祉」にて事業の特集記事を掲載し、情報用紙更新の周知を図った。

また、ふくし出前講座にて、情報用紙を記入しながら重要箇所、実際に使用された例を説明し、参加者にいのちのバトンの必要性を伝えた。

#### (8) 地域の取り組みや市社協事業の情報発信

広報紙「なんとの福祉」隔月発行、 ホームページ 54回更新、 ブログ 91回更新

#### (9) 固定資産取得支出（10万円以上）

・相談記録システム構築費用一式 1,149,500円

#### (10) 職員6名の人件費（ケアネット活動コーディネーター1名含む）



## 6 地域福祉ネットワーク事業

### (1) 【強】 支え合いマップづくり実践講座の開催

支え合いマップづくりを通して、要支援者や地域課題を把握するため、5地区にて実施。

	開催日	開催	会場	参加者	実施集落
①	7月23日	福野南部地区	福野南部 交流センター	38名	院林、広安、寺家
②					石田、田屋、八塚
③	9月28日	吉江地区	吉江 交流センター	22名	高宮、小林、角田町、荒木町
④	10月10日	安居地区	安居 交流センター	15名	川上崎、安居
⑤	10月26日	吉江地区	吉江 交流センター	21名	田中、一日市、吉江中、角田、 遊部
⑥	10月29日	太美山地区	太美山 交流センター	30名	太美、吉見、綱掛、立野脇、 樋瀬戸、七曲、嫁兼、道場原
内 容	住宅地図を使い、地域の生活課題や社会資源等を掘り起こし、住民同士の支え合いによる解決を探る。また、今後地区ごとにマップの更新を実践できるよう、手法、手順を参加者と共有する。				
成 果	高齢者世帯だけでなく、障がい者や支援を必要とする世帯、また集いの場などの地域の特徴を可視化しながら情報共有した。 地域住民が主体となって、ご近所での支えあいやケアネット活動の方法を検討する場となった。				

### (2) 【強】 地域食堂モデル事業

年齢や障がいの有無等に関わらず、誰もが気軽に集うことができる居場所づくりとして実施。新型コロナウイルス感染拡大防止策として、会食を避け、地元飲食店の弁当等を参加者宅へ届けるといった方法などで、希望のあった10地区の地域づくり協議会と連携して開催した。

10地区 参加者延べ 921名

地区名	開催日	参加者	地区名	開催日	参加者
太美山地区	7月30日(金)	34名	広瀬館地区	12月 5日(日)	116名
利賀地区	9月18日(土)	135名	南山見地区	12月 6日(月)	170名
高瀬西地区	10月 3日(日)	101名	西太美地区	12月26日(日)	38名
北山田地区	11月28日(月)	46名	広瀬地区	1月11日(火)	107名
蓑谷地区	12月 4日(土)	66名	東太美地区	3月28日(月)	108名

### (3) 【強】 憩いのステーション縁の木

地域の中で孤立している方の日中の居場所づくりを目的に開催。参加者のペースで過ごせる居場所を提供し、社会参加のきっかけづくりを行うとともに、職員が常駐し、誰でも立ち寄り、悩みを相談できる場所として開放した。

開催場所	福光支所 ボランティア室	
開催日	第2・4水曜日 (10:30~14:30)、第4水曜日 (16:00~18:30)	計30日
参加者	延べ105名	

### (4) 寄付された食品の活用

- ・食品を寄付されたフードドライブ実施団体 のべ6団体
- ・食品無料配布会の実施 7月と12月

(5) 更新及び取得した主な設備・備品 (10万円未満)

- ・住宅地図 (取替版) 20,680円

(6) 職員1名の人件費

## 7 総合相談所運営事業

(1) ふくし総合相談センターの設置

市民の相談を総合的に受ける窓口を本支所に設置し、職員が随時相談に応じた。相談者に寄り添いながら関わりを継続したり、必要に応じて専門機関へつなぐなど、相談内容の解決に向けて対応した。

- ・相談カレンダーの全戸配布 年2回
- ・新規相談受付 207件 (R2年度 378件)

相談者の状況	ひとり暮らし	高齢者のみ	家族同居	不明	計
	43件	11件	38件	115件	207件

相談内容	ケアネット	ボランティア	居場所	生活困窮	生活福祉資金	日常生活自立支援	高齢相談	心配ごと相談等	計
	23件	7件	3件	5件	29件	12件	42件	86件	207件

(2) 心配ごと相談・法律相談の定期開催

①心配ごと相談

どこに相談して良いか分からないような日常生活の困りごとについて、心配ごと相談員が親身に相談を受け、必要に応じ適切な専門機関へつないだ。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため8~9月の開催(計4回)を中止とした。

支所名	開設日数	相談件数(延べ)	相談員(延べ)
城端	5日	2件	5名
平	1日	1件	1名
上平	1日	0件	1名
利賀	1日	0件	1名
井波	11日	11件	11名
井口	1日	0件	1名
福野	5日	6件	5名
福光	10日	10件	10名
計	35日	30件	35名

相談内容内訳				
生計	1件	人権・法律		1件
年金	0件	財産		12件
職業・生業	1件	事故		0件
住宅	0件	児童福祉		0件
家族	5件	教育・青少年		0件
結婚	0件	障がい者福祉		2件
離婚	0件	母子父子福祉		0件
健康・衛生	2件	高齢者福祉		2件
医療	2件	苦情		7件
精神衛生	0件	その他		2件
計				37件

②法律相談

相続や、家族関係、金銭問題、賠償問題など法律に関する相談に応じた。

- ・開催回数 月1回(年12回)
- ・相談件数 42件
- ・相談員 富山県弁護士会 弁護士

## 8 障害者社会参加事業

### (1) 障害者社会参加支援事業

在宅障がい者の社会参加促進と、地域の方々との交流による障がい者理解を図ることを目的に開催。

開催日	9月2日 ①13:30～15:00 ②15:30～17:00
会場	井波社会福祉センター
参加者	①18名（当事者9名、ボランティアスタッフ5名、職員4名） ②7名（当事者1名、ボランティアスタッフ3名、職員3名）
内容	「キャンドルづくり、火育」 講師 ラムキャンドル 岡部 強 氏 キャンドルづくりを通し、火の取り扱いや、歴史など紙芝居で楽しく学んだ。
成果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、時間を分けて実施し、人数にも制限を設けたが、日々の交流の機会が減っていた中での開催であったため、参加者は大変楽しんでいる様子であった。 当日の協力スタッフを募ったところ、障がい者寄り添い講座の受講者から5名がスタッフとして参加し、当事者らと交流した。

### (2) 障害者理解促進研修・啓発事業

災害時に想定される障がい者の困りごとを知り、地域住民や福祉関係者等がどのような支援ができるかを考えることを目的に研修会を開催。また、災害時に災害救援ボランティアセンターが迅速に機能できるよう、センターの役割と仕組みについて理解を深めた。

開催日	10月16日
会場	①井波コミュニティプラザ「アスモ」 ②オンライン ※後日、動画配信サービスで期間限定配信も行った。
参加者	58名（うち、当事者4名）（①23名 ②35名）
内容	「障がい者と災害」 1) 講演「災害救援ボランティアセンターの役割と仕組みについて」 講師 市社協災害救援ボランティア担当者 2) ワークショップ ファシリテーター 富山福祉短期大学 教授 鷹西 恒 氏 ・発表①「災害時の困りごと、地域の方に知っておいてほしいこと」 当事者2名 ・発表②「福祉避難所として地域の方をお願いしたいこと」 社会福祉法人マーシ園 ピアサポートあい 所長 中盛 京子 氏 ・発表③防災士・社会福祉士 ・全員でマイタイムラインの作成
成果	障がい者から災害時の困りごとなど生の声を聞くことで、地域でできることや当事者からの発信の重要性を学んだ。それにより、障がい者の理解を深めることができ、ひいては自身や地域の防災意識を高めることにつながった。

## 9 福祉入門事業

### (1) 手話奉仕員養成講習会 [入門編]

※南砺市井波総合文化センター（代表企業(株)ホクタテ高岡支社）へ業務委託

開催日	6月4日～2月25日（毎週金曜日 全24回） ※新型コロナウイルス感染拡大防止による施設休館中は日程を延期して開催。
会場	井波総合文化センター
参加者	11名
内容	手話によるコミュニケーションを学ぶことを通して、聴覚障がい者への理解や日常生活での活用を目的に開催した。
成果	入門編と基礎編の2年1セットとしており、本年度は1年目の入門編を実施した。 修了生 9名

## 10 地区福祉活動助成事業

### (1) 地区福祉活動助成

地区福祉活動を推進強化するため社協会費を増額し、31地域づくり協議会へ総額5,139,500円を助成した。

## 11 ボランティア助成事業

### (1) ボランティア活動団体へ助成

ボランティア活動助成金として20団体へ総額281,000円を助成した。

- ①定期的な活動部門 17団体
- ②事業の開催部門 3団体

### (2) 市ボランティア連絡協議会へ助成

ボランティア活動助成金として500,000円を助成した。

## 12 各団体助成事業

### (1) 各種団体活動へ助成

南砺市遺族会	738,000円	
南砺市遺族会福光支部	140,000円	
井波招魂社奉賛会	151,000円	
南砺市老人クラブ連合会	186,000円	(総額1,215,000円)

## 13 外出支援サービス事業

### (1) 外出支援サービスの実施 ※最終年度

要介護3以下の車椅子が必要な方を対象に、福祉車両による医療機関への送迎サービスを実施した。2事業所で福祉車両2台を維持管理した。

最終年度として自家用有償旅客運送の業務廃止の手続きを行った。

事業所	地域	利用 実人数	運転V 活動者数	利用回数 (片道単位)	稼動 延べ日数	所有台数
城端支所	城端	1名	2名	11回	6日	1台
福野支所	福野	5名	4名	81回	41日	1台
合計		6名	6名	92回	47日	2台

## 14 高齢者交流サロン事業

### (1) 高齢者交流サロン事業の実施

#### ①ふれあいいきいきサロン「定期交流型」「運動中心型」への助成

地域の身近な場所で、参加者相互の交流により介護予防と健康増進を図り、いきいきとした日常生活を送ることを目的に実施している28団体へ活動費を助成し、継続的な運営支援を行った。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ステージ3の期間は開催自粛を依頼。

	実施単位・団体数		実施回数	参加人数	平均参加人数
定期交流型	地区単位	16団体	802回	10,320人	12.9人
	集落単位	2団体			
運動中心型	地区単位	5団体	490回	5,022人	10.2人
	集落単位	5団体			

#### ②サロン機材の整備と貸出し

ふくし出前講座やサロン運営相談等で貸出機材の紹介、周知を図った。

## 15 高齢者生きがい対策事業

### (1) スポーツ教室等委託事業

高齢者がスポーツを通して健康でいきいきとした生活を送れることを目的とし、各地域でスポーツ教室を開催する団体に業務委託を行った。

地域	事業名	主な内容	活動回数	参加者(延べ)
井波	マレットゴルフ	定例練習会・講習会・交流大会の開催	17回	395人
	カラオケ教室	練習会の開催	21回	122人
井口	ペタンク	練習会の開催	64回	596人
福野	ゲートボール	教室・講習会の開催、協議会への参加	45回	2,770人
福光	ゲートボール	練習会・講習会の開催、大会への参加	73回	1,328人
	ペタンク	練習会・研修会の開催、大会への参加	468回	6,722人
	パークゴルフ	練習会・講習会の開催、大会への参加	89回	859人

## 16 高齢者相談対策事業

### (1) 生活支援コーディネーター活動事業の受託（地域包括ケア課より）

第2層生活支援コーディネーター5名を配置し、第2層協議体として5つの日常生活圏域ごとに地区福祉活動連絡会を開催した。関係者のネットワーク構築を図るとともに、生活支援に関する地区の事業を紹介し、これから必要となる取り組みについて意見交換を行った。

第2層協議体	実施日	場所	参加人数
城端地域	11月19日	大鋸屋交流センター	14名
平・上平・利賀地域	10月28日	レンタルスペースY0☆ZA	8名
井波・井口地域	9月29日	井口社会福祉センター	17名
福野地域	9月7日	福野老人福祉センター さつき荘	16名
福光地域	11月5日	福光交流センター	23名

### (2) 高齢者の総合相談窓口業務、実態把握事業の受託（地域包括ケア課より）

高齢者に関する相談ケースについて包括システムを活用し、関係機関と情報共有を図った。なお、コロナ禍のため自宅訪問による高齢者実態把握調査は実施できなかった。

- ・相談件数 102件
- ・実態把握調査件数 0件

## 17 ボランティアセンター運営事業

### (1) ボランティアセンターの運営、センターの基盤強化

#### ① ボランティアセンター運営委員会（委員15名）

	第1回	第2回
開催日	5月27日	文書協議
会場	井波社会福祉センター	—
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度事業計画</li> <li>ボランティア活動団体助成金審査</li> <li>災害時連携協定について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度事業報告及び令和4年度事業計画（案）</li> <li>災害救援ボランティアセンター運営マニュアルの見直しについて</li> </ul>
成果	委員よりそれぞれの所属団体等の特性を活かした意見を聞くことができ、また各団体での取り組みなどを情報共有することもできた。	

#### ② ボランティア相談支援業務

- ・活動者への相談受付、対応（延べ） 472件
- ・新規希望者や募集希望の受付、対応 7件

#### ③ ボランティア登録業務

ボランティアコーディネート業務等を円滑に行うため登録管理データを改変し、ボランティア登録受付事務を進めた。

	R1年度	R2年度	R3年度
団体登録数	160 団体	163 団体	154 団体
団体登録人数（延べ）	4,510 人	4,396 人	4,028 人
個人登録人数	13 人	14 人	9 人
登録人数合計	4,523 人	4,410 人	4,037 人

#### ④ ボランティア活動保険加入普及業務

- ・加入者数 2,712名

#### ⑤ ボランティア情報発信業務

広報紙「なんと福祉」やホームページ、ブログを活用し、情報を発信した。

### (2) 福祉教育の推進、ボランティア活動参加の促進

#### ① 福祉教育地域指定推進事業 ふくし・ボランティア体験講座

	1回目	2回目
開催日	8月7日	12月25日
参加者	市内の小中学生と保護者 15名	市内の小中学生と保護者 10名
内容	「車いすツインバスケットボール体験」 当事者から車いす生活について聞き、 車いすツインバスケットボールを体験。	「クリスマス交流会」 公共施設での車いす利用体験、キャン ドルづくりで当事者と交流を深めた。
成果	ボランティア活動の実践は出来なかったが、車いす生活者への理解を高めることができた。子どもだけではなく保護者も参加することで、働く世代へも福祉やボランティアへの関心を高めることができた。アンケートには「車いすの方の目線で考えることができた」との感想があった。	

②「福祉教育・ボランティア学習会」の開催（砺波市・小矢部市・南砺市3市合同）

開催日	6月23日
場 所	小矢部市総合保健福祉センター
対 象	3市内の学校教諭
参加者	南砺市12名
内 容	授業のできる福祉教育やボランティア学習の提案として、3市社協の出前講座の体験を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小矢部市社協「福祉」てなんだろう？「ボランティア」ってどんなこと？</li> <li>・南砺市社協 赤い羽根共同募金ってなにに使われているの？</li> <li>・砺波市社協 高齢者との接し方について（高齢者疑似体験含む）</li> </ul>
成 果	出前講座の体験で福祉教育やボランティア活動の理解を深めることができた。「コロナ禍のできる活動」「SDGsと福祉・ボランティア」など時代に合った福祉教育のあり方について考える機会となった。

③学校等での福祉の授業やゲストティーチャー派遣

- ・小学校 2件

(3) 災害救援ボランティア活動

①障がい者寄り添い講座・災害救援ボランティアセンター勉強会

開催日	10月16日
会 場	①井波コミュニティプラザ「アスモ」 ②オンライン
参加者	①23名 ②35名
内 容	「障がい者と災害」 1) 災害救援ボランティアセンターの役割と仕組みについて 2) ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時、当事者や福祉避難所から地域の方へ伝えたいこと</li> <li>・マイタイムライン（避難行動計画）の紹介</li> <li>・意見交換</li> </ul>
成 果	災害時におけるボランティアセンターの役割を市民に知らせる機会となった。災害を視点として障がい者への理解を深めることができ、障がい者自身にとっても、自ら周囲に自分の状況を伝えておくことの必要性を知るきっかけとなった。参加者のうち、32名から障がい者事業への参加協力の申し出があり、今後の福祉活動者として期待される。

②災害救援ボランティアセンター運営マニュアルの見直し

市総務課防災危機管理係及び市福祉課と見直しに向けて打合せを行い、市地域防災計画との関連や今後の取り組みについて協議した。

③災害時連携協定の締結

- ・締結日 5月30日
- ・締結団体 砺波ライオンズクラブ

#### (4) 3市合同施設ボランティア受入れ担当者研修会（砺波市・小矢部市・南砺市3市合同）

開催日	11月19日
会場	オンライン
参加者	15福祉施設・病院 17名
内容	「ボランティア受け入れ時の感染症対策について」 講師：感染管理認定看護師
成果	コロナ禍でのボランティア受け入れ時の感染予防対策について理解を深め、活動ごとの対応について共有した。

## 18 ボランティアコーディネーター設置事業

### (1) ボランティアコーディネーターの設置

ボランティアコーディネーターとして職員4名の人件費

## 19 児童生徒のボランティア活動普及推進事業

### (1) 児童・生徒のボランティア活動普及事業

市内の小学校、中学校、高等学校および総合支援学校の20校を推進校とし、体験学習等の事業費助成を行った。

## 20 共同募金一般募金配分事業

### (1) ドリンクサービス事業の実施

#### ① ドリンクサービス

地域のサロンや関係団体の会議において、市内の障がい者施設利用者と協力してコーヒーを提供し、障がい者の社会参加の促進を図るとともに、地域住民への障がい者理解を深めた。

- ・開催回数 3回
- ・協力者数（延べ） 10名

#### ② ドリンクサービスマナーアップ講座

一定のサービス提供ができるようマナーの向上を目指し、今後の活動の励みとなるよう開催。

開催日	7月16日
会場	井波社会福祉センター
参加者	3施設9名（当事者6名、職員3名）
内容	「第一印象アップの方法や相手へのマナーについて」 講師 キレイのお店いせや 藤井 三紀子 氏 社会生活のマナーのひとつとして、相手に良い印象を与えられるよう印象アップの方法について学ぶ。また、飲み物の出し方のマナーを学び、社会生活に必要な知識を身に付けるとともに、参加者同士の交流を図ることを目的とする。
成果	コロナ禍で交流が制限される中、自分に似合う色で顔色を良くし、相手への印象をアップする効果を学び、参加者からは「新しい色の洋服に挑戦したい」といった前向きな声があった。

### (2) 広報紙の発行

広報紙「なんとの福祉」第188号（4月25日発行）～183号（2月25日発行）の発行。  
地域の取り組みや市社協事業の紹介、ボランティア情報の提供を行った。



### (3) だれでもサロン支援事業の実施

年齢や障がいの有無等に関わらず、地域の身近な場所で誰もが気軽に集える居場所づくりを目的に実施している114団体へ活動費を助成し、継続的な運営支援を行った。

	実施単位・団体数		実施回数	参加人数	平均参加人数
だれでも型	地区単位	19団体	1,287回	15,441人	12人
	集落単位	95団体			

### (4) 各種事業へ繰出し

6 地域福祉ネットワーク事業（地域食堂モデル事業、憩いのステーション縁の木）および  
13 外出支援サービス事業へ助成

### (5) 更新及び取得した主な設備（10万円未満）

・だれでもサロン レクリエーション貸出機材（2台） 80,960円

## 2 1 生活困窮者自立支援事業

### (1) 生活困窮者自立支援

①生活困窮に関する相談対応、関係機関との連携支援

・相談対応件数 43件

②家計改善支援事業（市受託事業）

家計改善を必要としている要支援者に対し、家計再生に向けた課題の評価、分析、状況に応じた支援計画を作成し、自立を支援した。

・家計に関する相談件数 5件

・プランの作成 4件（うち、再プラン2件）

### (2) 生活困窮者支援給付事業

生活に困窮している世帯を対象に、安定した生活を送れるよう状況に応じて必要な金品を給付し、相談支援を行った。また、関係機関と連携を図り、継続的な自立支援につなげた。

・給付に関する相談件数 5件

・給付を行った件数 5件

### (3) 職員1名（相談支援員として市へ派遣）

## 2 2 日常生活自立支援事業

### (1) 日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

高齢や障がい等により福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理を自分ひとりの判断で行うことに不安のある方に対して、生活支援員や専門員が定期的に訪問し日常生活上の様々な手続きや金銭管理等の支援を行った。

①利用契約件数

	R1年度末	R2年度末	R3年度末	新規	解約			
					本人希望	後見人等	死去	転出
認知症高齢者等	23件	26件	19件			2件	3件	2件
知的障がい者	26件	24件	22件			1件		1件
精神障がい者	12件	16件	13件	1件	2件	1件	1件	
その他	5件	4件	5件	1件				
合計	66件	70件	59件	2件	2件	4件	4件	3件

## ②生活支援員登録・活動状況

	R1年度末	R2年度末	R3年度末
登録数	56名	56名	54名
活動者数	47名	44名	42名

## ③相談支援業務

新規利用相談	13件
利用者の相談支援対応（延べ）	3,266件
利用者宅への訪問（延べ）	573件
ケース会議の開催（参加含む）	15件
成年後見制度のに関する問合せ	11件

### （2）職員の事例検討会の開催

職員の担当ケースについて、情報共有や事業間連携を図るために開催。困難ケースに関しては事例検討を行い、よりよい支援方法を検討するとともに職員の資質向上を図った。

### （3）南砺市生活支援員登録者研修会の開催

市内の生活支援員登録者を対象に、利用者理解及び対人援助技術の向上、生活支援員相互の情報交換・交流を図ることを目的として開催。

開催日	12月8日
会場	井波社会福祉センター
参加者	20名
内容	講師 臨床心理士・公認心理師 高野 利明 氏 1) 講義「ストレスと上手に付き合う」 2) グループワーク「生活支援での上手な声のかけ方、話の聴き方」
成果	普段の生活の中でストレスと上手に付き合う方法や利用者に対する関わり方など、実践を交えてわかりやすく学んだ。利用者と良い関係が築けるように、今後の支援に活かしていただく。

### （4）職員3名（専門員）の人件費

## 2 3 生活福祉資金貸付事務事業

### （1）県社協生活福祉資金の貸付事務（県社協受託事業）

生活困窮世帯、低所得世帯、障がい者または高齢者の属する世帯に対し、県社協への資金の貸付手続きと、自立のために必要な相談支援を行った。

#### ①資金貸付相談

生活困窮者自立相談支援事業、生活困窮者支援給付事業等と連携し対応した。また、生活費以外の相談に対しては、他制度へつなげた。

・相談件数（延べ） 215件

②生活福祉資金貸付事業

・利用契約件数

資金名		R2年度末	R3年度末
総合支援資金	生活支援費	3件	3件
	住宅入居費	2件	2件
	一時生活再建費	2件	2件
福祉資金		0件	0件
教育支援資金		8件	8件
緊急小口資金		5件	5件
合 計		20件	20件

③生活福祉資金貸付事業（コロナ特例貸付）

・利用契約件数

資金名		R2年度末	R3年度末
緊急小口資金	（受付）市社協	92件	124件
	南砺ろうきん	3件	3件
	南砺ゆうちょ	6件	6件
総合支援資金	新規	21件	38件
	延長	3件	5件
	再貸付	0件	14件
合 計		125件	190件

④臨時特例つなぎ資金貸付事業

・利用契約件数 0件

⑤償還指導・督促状況

- ・借受人および連帯借受人、連帯保証人への督促・残額通知の送付（3か月毎） 延べ112件
- ・生活状況の確認や償還を促すための電話連絡・面談 延べ 13件

(2) 更新及び取得した主な設備（10万円未満）

- ・自動検温器（5台） 31,680円（1台あたり）

## 2 4 小口資金貸付事業

(1) 市社協生活支援資金の償還事務

①生活支援資金の償還状況

- ・利用契約件数 2件
- ・償還残高 136,000円（100,000円1件、 36,000円1件）

②償還指導・督促状況

- ・6か月以上償還のない借受人に対する督促状の送付 延べ3件
- ・借受人、連帯保証人に対する状況確認書・償還計画変更届の送付 延べ3件
- ・生活状況の確認や償還を促すための電話連絡や訪問等 延べ6件

### 3 福祉センター等運営部門

#### 25 城端老人福祉センター運営事業

市指定管理者として入浴施設、貸室のある城端老人福祉センター「美山荘」の運営管理  
 指定管理期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日（1/1年目） ※最終年度

①開館日数 230日 利用者数 3,739人

※新型コロナウイルス感染拡大防止による市施設休館に伴い8月18日～9月12日休館。

※ボイラー故障により1月4日からお風呂の営業を休止（貸館のみ営業）。

②利用促進のための取組み

- ・南砺市寿入浴券事業に参画した。
- ・施設職員で救命講習を受講した。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止策として、検温の実施、消毒液の設置で安全・安心な運営に努めた。

③主な修繕（10万円以上） なし

④固定資産取得支出（10万円以上） なし

⑤更新及び取得した主な設備・備品（10万円未満） なし

⑥利用状況

（単位：人、円）

区分		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
開館日数（日）		349	346	343	297	230		
入館	老人等	人数	9,832	9,738	8,408	4,062	3,664	
		金額	2,164,810	2,174,420	1,770,940	893,640	806,080	
	中学生以上	人数	167	187	149	166	75	
		金額	50,100	56,100	44,700	49,800	22,500	
	小学生	人数	3	2	1	0	0	
		金額	300	200	100	0	0	
	小計		人数	10,002	9,927	8,558	4,228	3,739
			金額	2,215,210	2,230,720	1,815,740	943,440	828,580
	参考	減免	人数	61	16	0	0	0
			金額	9,150	2,400	0	0	0
部屋利用	入館の内数	人数	4,380	4,574	3,613	1,231	1,446	
		金額	350,400	365,920	288,880	98,480	115,680	
	参考	減免	人数					
			金額					
総合計		人数	10,002	9,927	8,558	4,228	3,739	
		金額	2,565,610	2,596,640	2,104,620	1,041,920	944,260	
1日平均利用者数（人）		28.7	28.7	25.0	14.2	16.3		

⑦人件費 職員1名分

## 26 福野老人福祉センター運営事業

入浴施設、貸室のある福野老人福祉センター「さつき荘」の運営管理

①開館日数 226日 利用者数 3,240人

※新型コロナウイルス感染拡大防止による市施設休館に伴い8月18日～9月14日休館。

②利用促進のための取組み

- ・自主事業として「カラオケの日」「体操の日」「囲碁の日」を開催した。
- ・南砺市寿入浴助成券事業に参画した。
- ・救急救命装置AEDを設置し、施設職員で救命講習を受講した。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止策として、検温の実施、消毒液の設置で安全・安心な運営に努めた。

③主な修繕（10万円以上）

- ・風呂ろ過機のろ過材更新 190,300円
- ・電話機器移設工事 220,000円

④固定資産取得支出（10万円以上）

- ・AED（自動体外式除細動器） 163,900円
- ・事務室エアコン設置 290,000円

⑤更新及び取得した主な設備・備品（10万円未満）

- ・瞬間湯沸し器 34,430円
- ・石油ファンヒーター（2台） 21,800円（1台あたり）
- ・利用者用机（6台） 30,800円（1台あたり）

⑥利用状況

（単位：人、円）

区分		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
開館日数（日）		251	334	331	296	226	
利用	60歳以上・障害者	人数	6,661	5,920	5,020	2,746	2,783
		金額	1,998,300	1,776,000	1,506,000	823,800	834,900
	寿入浴券	人数	277	356	289	336	394
		金額	83,100	106,800	86,700	100,800	118,200
	60歳未満	人数	40	39	46	6	3
		金額	16,000	15,600	18,400	2,400	1,200
	減免	人数	98	97	157	92	60
		金額	14,700	14,550	23,800	11,550	6,300
	カラオケ	金額	71,900	74,100	73,600	30,900	37,600
	小計	人数	7,076	6,412	5,512	3,180	3,240
金額		2,184,000	1,987,050	1,708,500	969,450	998,200	
自販機手数料等	金額	2,610	18,166	38,877	24,212	19,756	
総合計	金額	2,186,610	2,005,216	1,747,377	993,662	1,017,956	
1日平均利用者数（人）		28.2	19.2	16.7	10.7	14.3	

⑦人件費 職員1名分

## 27 福光老人福祉センター運営事業

入浴施設、貸室のある福光老人福祉センター「福光温泉」の運営管理

①開館日数 285日 利用者数 17,213人

※新型コロナウイルス感染拡大防止による市施設休館に伴い8月18日～9月14日休館。

②利用促進のための取組み

- ・施設の一部を食堂営業や、福光麻布の展示場などに貸付し、全開館日の営業を実施した。
- ・南砺市寿入浴助成券事業に参画した。また、お得な回数券の販売を実施した。
- ・救急救命装置AEDを設置し、施設職員で救命講習を受講した。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止策として、検温の実施、消毒液の設置で安全・安心な運営に努めた。

③主な修繕（10万円以上）

- ・館内誘導灯修繕工事 102,300円
- ・自家発電設備部品交換工事 324,500円
- ・ばっ気ブロワ取替工事 618,860円
- ・非常用発電装置修繕 286,000円

④固定資産取得支出（10万円以上）

- ・AED（自動体外式除細動器） 163,900円

⑤更新及び取得した主な設備・備品（10万円未満）

- ・掃除機（2台） 16,797円（1台あたり）
- ・空気清浄機（2台） 42,550円（1台あたり）

⑥利用状況

（単位：円、人）

区分		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
開館日数(日)		306	304	310	205	285	
利用	一般入浴	人数	9,441	9,441	10,810	5,162	6,499
		金額	4,503,750	4,520,000	5,181,550	2,523,100	3,199,100
	寿入浴券	人数	3,427	3,517	3,308	2,647	3,289
		金額	1,713,500	1,758,500	1,654,000	1,323,500	1,644,500
	回数券	人数	7,354	8,154	10,405	5,224	7,425
		金額	3,120,000	3,480,000	4,385,000	2,150,000	3,137,500
	休憩料	人数	691	772	640	172	159
		金額	224,325	214,225	197,000	54,075	57,600
	小計	人数	20,222	21,112	24,523	13,033	17,213
		金額	9,561,575	9,972,725	11,417,550	6,050,675	8,038,700
フロント販売、自販機		1,309,470	978,680	850,180	526,435	609,490	
食堂、展示場賃貸料他		279,060	171,720	162,806	300,155	308,848	
販売等 計		1,588,530	1,150,400	1,012,986	826,590	918,338	
負担金収入		100,381	113,461	96,741	62,326	95,156	
総合計		11,250,486	11,236,586	12,527,277	6,939,591	9,052,194	
1日平均利用者数(人)		66.1	69.4	79.1	63.6	60.4	

⑦人件費 職員13名分

## 28 井波社会福祉センター運営事業

各種団体の集会場・趣味の場として、会館の管理運営

①開館日数 278日 利用者数 8,980人

- ※新型コロナウイルス感染拡大防止による市施設休館に伴い8月18日～9月13日休館。
- ※利用申請のない日について、平日は17時15分で閉館とし、土日、祝祭日は休館とした。
- ※土日の開館時間は、利用申請のある時間帯のみとした。
- ※1階相談室は、改修工事ため1月31日～3月31日まで利用停止とした(令和4年度から貸室停止)。

②利用促進のための取組み

- ・情報収集、娯楽のため、1階ロビーに大型テレビを設置した。
- ・美しく開花するように花壇の土を入れ替え、屋外景観の美化向上に努めた。
- ・救急救命装置AEDを設置し、施設職員で救命講習を受講した。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止策として、利用前後の消毒・換気・清掃、検温の実施、消毒液の設置で安全・安心な運営に努めた。

③主な修繕（10万円以上）

- ・排水管改修工事 3,184,500円
- ・相談室改修工事 1,243,000円
- ・駐車場縁石他修繕工事 108,900円

④固定資産取得支出（10万円以上）

- ・50型テレビ他付属品一式 206,800円
- ・AED（自動体外式除細動器） 163,900円

⑤更新及び取得した主な設備・備品（10万円未満） なし

⑥利用実績

（単位：件、人、円）

区 分		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
開館日数（日）		332	330	325	261	278
1F 談話室	件数	184	186	150	70	84
	人数	1,266	1,237	997	500	491
	金額	96,660	96,920	65,880	49,760	52,720
1F 相談室	件数	62	58	47	29	29
	人数	386	340	359	134	117
	金額	53,860	52,960	38,300	14,960	10,960
1F 娯楽室	件数	221	262	248	194	224
	人数	3,369	3,491	2,549	1,627	1,860
	金額	275,160	323,325	301,325	214,025	254,385
2F 研修室	件数	200	203	135	124	108
	人数	5,712	5,467	4,074	2,356	2,046
	金額	341,500	344,910	245,450	197,950	167,545
2F 児童文化室	件数	217	213	263	182	199
	人数	3,138	2,905	3,326	1,720	1,812
	金額	312,440	310,290	354,340	241,090	272,160
2F ボランティア室	件数	69	78	86	66	76
	人数	332	388	582	441	488
	金額	0	0	0	700	0

3F 会議室	件数	97	103	96	31	56
	人数	823	704	615	187	350
	金額	74,775	82,050	67,350	18,775	41,775
3F 大ホール	件数	115	133	130	52	83
	人数	3,686	4,188	3,538	1,027	1,816
	金額	247,170	281,690	227,175	97,515	161,375
総合計	件数	1,096	1,236	1,155	748	859
	人数	18,380	18,720	16,040	7,992	8,980
	金額	1,401,565	1,492,145	1,299,820	834,775	960,920
1日平均利用者数（人）		55.4	56.7	49.4	30.6	32.3

⑦人件費 職員1名分 非常勤職員4名分



## 29 井口社会福祉センター運営事業

各種団体の集会場・趣味の場として、会館の管理運営

※管理は井口地域づくり協議会に委託

①開館日数 243日 利用者数 15,727人

※新型コロナウイルス感染拡大防止による市施設休館に伴い8月18日～9月12日休館。ただし、市からの要請により、いのくち放課後クラブには貸出。

※利用申請のない日は17時30分で閉館。

②利用促進のための取組み

- ・施設職員で救命講習を受講した。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止策として、検温の実施、消毒液の設置で安全・安心な運営に努めた。

③主な修繕（10万円以上）

- ・非常照明更新工事 693,000円

④固定資産取得支出（10万円以上）

なし

⑤更新及び取得した主な設備・備品（10万円未満）

なし

⑥利用状況

（単位：人、円）

区 分		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
開館日数（日）		266	283	258	215	243
1F 集会室	人数	1,656	1,244	1,141	282	211
	金額	64,230	33,990	37,050	13,740	12,990
1F 談話室	人数	1,843	1,629	1,610	541	777
	金額	85,060	78,880	90,800	49,440	75,620
1F 面接休養室	人数	442	585	242	227	574
	金額	15,680	27,620	13,400	7,240	26,740
1F サロン室	人数	1,499	1,730	1,037	684	1,140
	金額	69,660	116,400	67,590	70,590	133,410
1F ボランティア室	人数	1,044	786	669	429	562
	金額	29,520	26,520	24,630	25,590	46,800
1F 調理室	人数	222	183	210	4	0
	金額	12,270	12,780	10,950	960	0
2F 大ホール	人数	4,710	5,538	4,627	4,028	4,668
	金額	49,800	57,760	40,440	291,560	335,820
2F 小ホール	人数	602	772	708	3,024	3,714
	金額	3,840	7,200	10,350	166,950	187,320
2F ワークルーム室	人数	16	129	12	0	156
	金額	1,440	12,200	1,300	0	6,400
2F 会議室	人数	472	579	568	275	369
	金額	68,660	86,780	71,840	50,500	55,640
2F 児童室	人数	3,728	4,157	3,795	2,884	3,556
	金額	2,100	2,100	800	126,480	126,800
総合計	人数	16,234	17,332	14,619	12,378	15,727
	金額	402,260	462,230	369,150	803,050	1,007,540
1日平均利用者数（人）		61.0	61.2	56.7	57.6	64.7

### 30 すばやく福野運営事業

高齢者の生きがいづくり及び健康増進のため、屋内ゲートボール場の管理運営

※管理は福野ゲートボール協会に委託

①開館日数 345日 利用者数 4,654人

※新型コロナウイルス感染拡大防止による市施設休館に伴い8月18日～9月14日休館。

②利用促進のための取組み

- ・ゲートボール協会を通じ、市外のゲートボール団体の利用PRを図った。
- ・障害者のコート利用料の減免を行った。

③主な修繕（10万円以上） なし

④固定資産取得支出（10万円以上）

- ・コート照明のLED化工事 1,650,000円

⑤更新及び取得した主な設備、備品（10万円未満） なし

⑥利用状況

(単位：人、円)

区 分		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
開館日数（日）		359	359	360	313	345	
利 用	100円	人数	3,648	4,346	5,006	4,792	4,654
		金額	364,800	434,600	500,600	479,200	465,400
	150円 (18:00～)	人数	3	4	0	0	0
		金額	450	600	0	0	0
	コート利用	件数	19	17	18	3	19
		金額	27,050	17,950	18,000	3,000	19,000
	ゲートボール協会利用料		80,000	80,000	70,000	66,000	66,000
	小計	人数	3,651	4,350	5,006	4,792	4,654
		金額	472,300	533,150	588,600	548,200	550,400
	自販機手数料等		0	0	2,635	19,283	18,656
総合計		472,300	533,150	591,235	567,483	569,056	
1日平均利用者数（人）		10.2	12.1	13.9	15.3	13.5	

## 4 介護保険等サービス部門

### 3 1 ホームヘルプ事業

市指定管理者制度により、五箇山ホームヘルプステーションの運営管理

事業所名 南砺市五箇山ホームヘルプステーション（平出張所含む）  
事業所種類 訪問介護事業  
介護予防・日常生活支援総合事業第1号訪問事業  
指定管理期間 平成29年4月1日～令和6年3月31日（5/7年目）

- ①開所日数 269日（土曜営業あり）  
②主な修繕（10万円以上） なし  
③固定資産取得支出（10万円以上） なし  
④更新及び取得した主な設備・備品（10万円未満） なし

⑤利用状況 (単位：人、円)

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
開所日数（日）	254	253	256	269	269
延利用人数	2,287	2,321	2,214	1,940	1,797
延利用平均人数/日	9.0	9.2	8.6	7.2	6.7
平均実利用者数/月	27	26	25	21	19
平均介護度	1.7	1.6	1.5	1.6	1.6
介護事業収入	8,809,137	9,064,947	8,528,710	7,621,510	8,198,050

⑥人件費 職員2名分

### 3 2 デイサービスセンター運営事業

市指定管理者制度により、デイサービスセンターの運営管理

事業所名 南砺市平デイサービスセンター  
南砺市上平デイサービスセンター  
南砺市利賀デイサービスセンター  
事業所種類 地域密着型通所介護事業  
介護予防・日常生活支援総合事業第1号通所事業  
指定管理期間 平成29年4月1日～令和6年3月31日（5/7年目）

- ①開所日数 平デイ 242日  
上平デイ 242日  
利賀デイ 242日  
②主な修繕（10万円以上）  
・利賀デイ 脱衣場床下水漏れ修繕 121,000円  
③固定資産取得支出（10万円以上） なし  
④更新及び取得した主な設備・備品（10万円未満） なし

⑤利用状況

平デイ

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
開所日数	244	244	243	242	242
定員	18	18	18	18	18
延利用人数	3,377	3,045	3,107	2,828	2,020
利用平均人数/日	13.8	12.5	12.8	11.7	8.3
平均実利用者数/月	37	32	30	29	23
平均介護度	1.4	1.4	1.7	1.9	2.0
介護事業収入	26,798,956	24,692,389	27,230,892	26,152,984	18,941,030

上平デイ

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
開所日数	244	244	243	221	242
定員	18	18	18	18	18
延利用人数	2,258	1,988	2,209	1,905	2,269
利用平均人数/日	9.3	8.1	9.1	8.6	9.4
平均実利用者数/月	23	20	20	23	28
平均介護度	2.2	1.9	1.8	1.9	1.9
介護事業収入	19,825,815	17,846,617	19,428,165	18,259,720	20,553,018

利賀デイ

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
開所日数	244	244	243	243	242
定員	10	10	10	10	10
延利用人数	2,038	2,056	2,168	1,855	1,537
利用平均人数/日	8.4	8.4	8.9	7.6	6.4
平均実利用者数/月	25	21	23	20	18
平均介護度	1.2	1.4	1.5	1.5	1.4
介護事業収入	16,806,525	17,334,855	19,302,425	17,531,640	13,365,160

⑥運営推進会議の開催

概要	利用者家族、地域住民の代表者等に提供しているサービス内容を明らかにすることにより、サービスの質の確保を図ること等を目的として義務付けられ、各地域密着型デイサービス事業所が開催する（年2回）		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用状況の報告（利用者数、利用者の平均要介護度等）</li> <li>・活動状況の報告（行事開催状況、地域との交流状況、ボランティア受入等）</li> <li>・施設運営管理状況の報告（修繕状況、ヒヤリハットの報告等）</li> <li>・意見交換</li> </ul>		
	平デイ	上平デイ	利賀デイ
開催日	① 10月（文書協議） ② 3月28日	① 9月27日 ② 3月23日	① 8月（文書協議） ② 3月22日
参加者	① 電話対応 ② 8名	① 11名 ② 10名	① 電話対応 ② 10名

⑦人件費

職員16名分

〔 管理者3名、生活相談員3名、看護師2名、介護士・員4名、調理員3名、  
介護事務1名 〕

### 3 3 生活支援ハウス運営事業

市指定管理者制度により、平生活支援ハウスの運営管理

事業所名 南砺市平生活支援ハウス

指定管理期間 平成29年4月1日～令和6年3月31日（5/7年目）

①主な修繕（10万円以上） なし

②固定資産取得支出（10万円以上） なし

③更新及び取得した主な設備・備品（10万円未満） なし

④利用状況

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
定員	12	12	12	12	12
平均実利用者数/月	7	8	6	5	5
利用料収入	1,139,669	1,154,458	1,027,639	694,659	737,176

※入居の申請及び判定は南砺市において行う。

⑤人件費 職員1名分

### 令和3年度事業報告附属明細書

令和3年度事業報告には、社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。